

さあ行こう！ 野鳥いっぱい三宅島へ

このチラシをアカコッコ館へ持参の方に、
富士原なすびオリジナル三宅島グッズをプレゼント



探鳥プラン等
いつでもアカコッコ館に
ご相談ください！
TEL: 04994-6-0410
MAIL: miyakejima@wbsj.org
URL: <https://miyake1993.wixsite.com/akakokko>

三宅島では当日の海況によって到着する港が変わりますが、
どの港に着いた場合でも村営バスや民宿の送迎があります。

三宅島への行き方

アカコッコ館HPでは乗船の仕方など詳しく紹介しています。
<https://miyake1993.wixsite.com/akakokko/access>

寝ているうちに
三宅島に到着！



竹芝桟橋（東京・浜松町）より東海汽船
22時30分出発、翌5時に三宅島着！
東海汽船 <https://www.tokaikisen.co.jp/>
インターネット予約の割引あり！

出航後、東京湾の夜景を
楽しんだら早めに就寝
三宅島の探鳥に備えよう

あっという間に
三宅島！



調布飛行場（東京・調布市）より新中央航空
一日3便就航。約1時間で三宅島！
新中央航空 <https://www.central-air.co.jp/>

帰りは船が絶対おススメ！
海鳥観察を楽しもう。



アカコッコ館HPは
ここからアクセス！

島内の宿泊と交通情報



島内ではほかにもたくさんの民宿・ペンションがご紹介します。
また、島内の移動には村営バスやタクシーのほか
レンタカー、レンタバイク、レンタサイクルがご利用いただけます。
詳しくは三宅島観光協会にご確認ください。
三宅島観光協会 TEL: 04994-5-1144 <https://www.miyakejima.gr.jp/>



観察しよう！三宅島の代表的な野鳥

～まずはここから探してみよう～



アカコッコ 全長23cm
伊豆諸島やトカラ列島など限られた場所のみ生息。中でも三宅島では多く、2025年の調査では三宅島での推定個体数は約9,900羽であった。大路池やアカコッコ館が観察しやすい。国天然記念物・絶滅危惧ⅠB類



イイジマムシクイ 全長12cm
3月下旬～4月上旬に飛来する夏鳥。その後、森の中では高密度で生息し、シュリシュリシュリというさえずりがシャワーのように響く。大路人の斜面やアカコッコ観察コーナーが観察しやすい。国天然記念物・絶滅危惧ⅠB類



ウチャマセンニュー 全長17cm
4月下旬頃に飛来する夏鳥。朝夕にササなどの穂先にとまり、チュルリチュルリ、チュカチュカとさえずる。海岸沿いの草地などに生息するが、伊豆岬では数が多く観察しやすい。絶滅危惧ⅠB類



カラスバト 全長40cm
伊豆諸島や南西諸島、九州の島嶼など限られた場所でのみ生息。鬱蒼とした森を好み警戒心が強いが、伊豆岬や今崎海岸などでは枯れ木にとまり観察しやすい。ウーウーと牛のような声で鳴く。国天然記念物



カンムリウミスズメ 全長24cm
日本近海と韓国の一部で繁殖する。三宅島での繁殖地は島から西南西約9km程離れた大野原島（通称：三本岳）。航路などで観察できる。国天然記念物・絶滅危惧ⅠB類



(オーストン) ヤマガラ 全長15cm
本州の亜種ヤマガラに比べ、体が大きく羽色も濃い。特に頬の色味が大きく異なる。三宅島・御蔵島・八丈島に生息するほか、近年では式根島でも見られている。絶滅危惧ⅠB類



(タネ) コマドリ 全長14cm
三宅島では1年を通してみられる留鳥。海岸沿いでも見られるが、照葉樹林に多い。本州の亜種コマドリのような胸部と腹部の境界にある黒い線がない。絶滅危惧ⅠB類



オオミズナギドリ 全長50cm
三宅島～東京航路で一番多く見られる海鳥。三宅島の隣にある御蔵島は日本最大の繁殖地であり、三宅島島内からも群れて海上を飛び様子をよく見ることが出来る。

行ってみよう！おススメ探鳥ポイント

～森の鳥、草地の鳥、海の鳥をチェック！～



大路人 バス停：大路人
約2000年前の噴火によってできた火口湖。照葉樹林の森が広がり、周辺の小径は日本一のさえずりの小径と呼ばれ、イイジマムシクイのさえずりシャワーは必聴！



伊豆岬 バス停：伊豆岬灯台入口
伊豆諸島最大のウチャマセンニューの繁殖地。早朝に灯台近くのあずまやからの観察すると良い。バス移動の場合は三宅島に到着した朝、港に来る村営バスで伊豆岬に向かうとよい。



サタドー岬 バス停：御子敷
アマツバメの繁殖地。風切り音が聞こえるほど近くを大群で飛び回る。付近の草地ではウチャマセンニューも観察できるほか、海鳥やウミガメの観察にもおススメ。

ほかにも、渡りの時期には今崎海岸、釜方海岸などでキョウジョシギやムナグロなどが見られ、時にはメリケンキアシシギも観察できる。

また、坪田林道や三ノ宮林道、薬師堂などでもアカコッコやタネコマドリなどの森の野鳥の観察を楽しめる。

帰りの船からはオオミズナギドリの大群やアホウドリの仲間、時にはカンムリウミスズメの観察も楽しむ事ができる。

こんな楽しみも！

～豊かな自然いっぱいの三宅島はほかにもたくさんの魅力があります！その一部をご紹介します～



新鼻新山 バス停：新鼻池
1983年の噴火の際の海底噴火によって一夜にしてできたスコリア丘。赤色と黒色のスコリアが作る景観が魅力。



火山体験遊歩道 バス停：夕景浜
1983年の噴火の溶岩によって埋没した集落。遊歩道が整備され、溶岩の上を歩きながらその形跡を見ることが可能。



アオウミガメ
海岸からは高確率でアオウミガメを観察できる。サタドー岬や釜方海岸が見やすい。



島のご馳走！
民泊の夕食は新鮮な海の幸や島ならではの山菜や野菜などどれも美味しいものばかり。

アカコッコ館にお任せください！



アカコッコ館では日本野鳥の会のレンジャーが常駐しています。春のバードウォッチングベストシーズン中は週末ごとの観察会など盛りだくさん。また観察コーナーも充実しており、野鳥観察初心者の方でもお楽しみいただけます。

三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館
開館 9:00～16:30 休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
利用料 200円 ※15名以上の団体は1人160円、中学生以下と65歳以上は無料
URL: <https://miyake1993.wixsite.com/akakikko>
TEL: 04994-6-0410 E-mail: miyakejima@wbsj.org